

- 1 日 時 令和2年2月13日(木) 第5校時
- 2 学年・学級 第1学年(男子10名 女子16名 計26名)
- 3 場 所 英語教室
- 4 単 元 名 PROGRAM 11 Grandma Baba and Her Friends on a Sleigh

5 本単元を指導するにあたって

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領「読むこと」の領域の、「(イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。」「書くこと」の領域の、「(エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちを書くこと。」を踏まえて、単元設定を行った。

子どもたちに人気のある「ばばあちゃんのおはなしシリーズ」の中の1冊である「そりあそび」の英訳を取り上げ、元々は日本語で書かれた絵本を英文で読むことによって、改めて英語の表現を体験することをねらいとしている。

文法事項としては、一般動詞の過去形(不規則動詞)について学習する。前単元のPROGRAM10で学習した一般動詞の過去形(規則動詞)について振り返らせながら指導することができ、生徒は、本単元で不規則動詞の過去形を学習することで、自己表現の幅をさらに広げることができる。

(2) 生徒観

省略

(3) 指導観

指導にあたっては、帯活動でのSmall Talkや教科書のBasic Dialogを用いて基本的な文法事項や重要表現の定着を図る。この単元で学習する一般動詞の過去形(不規則動詞)や既習単語は、定期的にドリル学習を行い、正しく書けるようにさせたい。また学習した表現を用いて、過去の出来事を日記などの形式で紹介できるようにさせたい。そして教科書本文の音読を繰り返し行わせ、英語を読んだり、話したりすることに自信を持たせ、書くことの意欲につなげていきたい。これまでの

既習事項や一般動詞の過去形については、Small Talk などの活動で繰り返し言ったり、単語テストで見取ったりして、語彙や重要表現の定着を図っていききたい。単元末におけるパフォーマンス課題では、「私の旅行」というテーマで、ある程度まとまった、つながりのある英文を書かせ、現在、過去について自己表現活動をさせたい。

6 単元の目標

- 一般動詞の過去形[主に不規則動詞]を用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。
- 過去の出来事について、一般動詞の過去形[主に不規則動詞]を用いて書いたり話したりすることができる。
- まとまりのある英語を聞いたり読んだりして、物語全体の概要や内容について理解し、音読できる。
- 一般動詞の過去形[主に不規則動詞]の用法を理解することができる。

7 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①一般動詞の過去形を使い、積極的に話している。	①聞き手に内容が伝わるように話すことができる。 ②一般動詞の過去形を用いて、まとまりのある文を正しく書くことができる。 ③内容が表現されるように工夫して音読できる。	①あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。	①一般動詞の過去形の用法について理解している。

8 指導及び評価の計画(全8時間)

次	学習内容 (時数)	評 価				
		関	表	理	知	評価規準 (評価方法)
1	単元のパフォーマンス課題について知る。 一般動詞の過去形[主に不規則動詞]の用法を理解する (1)	○			○	エー① (ワークシート) アー① (行動観察)
	本文(P. 115)の内容を理解する 本文を音読する (1)		○	○		ウー① (ワークシート) イー③ (行動観察)

2	本文(P. 116)の内容を理解する 本文を音読する (1)		○		ウー① (ワークシート) イー③ (行動観察)
3	本文(P. 117)の内容を理解する 本文を音読する (1)		○		ウー① (ワークシート) イー③ (行動観察)
4	本文(P. 118)の内容を理解する 本文を音読する (1)		○		ウー① (ワークシート) イー③ (行動観察)
5	物語文を通して音読できる (1)		○		イー③ (行動観察)
	【パフォーマンス課題】(2) ○パフォーマンス課題に取り組む。 【1/2 本時】		○		イー② (ワークシート)
	<p>パフォーマンス課題</p> <p>あなたは、クラスで「私の旅行」というテーマで発表をします。行った場所やしたこと、感想を交え、つながりも考えて、動詞の過去形を使い、5文程度の英文で書いてみましょう。</p>				
6	ルーブリック				
A	既習表現や重要表現を用いて、したことや感想を交えて6文以上のつながりのある英文を正しく書いている。				
B	既習表現や重要表現を用いて、したことや感想を交えて5文でつながりのある英文を正しく書いている。				
C	既習表現や重要表現を用いて、自分の感想があまり書かれていない、つながりのない5文程度の英文を書いている。				
	○英文を暗唱して発表する。		○		イー① (行動観察)

9 本時の展開

(1) 本時の目標

「私の旅行」というテーマで、行った場所やしたこと、感想を交え、5文程度の英文で書くことができる。

(2) 観点別評価規準

一般動詞の過去形を用いて、まとまりのある文を正しく書くことができる。【外国語表現の能力】

(3) 準備物

ワークシート

(4) 学習の展開

	学習内容 (活動)	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 「C」と判断される生徒への手だて (★) 指導上の留意点 (●)	評価規準 (◇) (評価方法)
導入	1. あいさつをする。 2. 既習事項の復習をする。 Small talk	○曜日, 日付, 天気, 時刻について尋ねる。 ○ペアで取り組ませる。 ★机間指導をして, 個別のサポートをする。	
展開	3. 本時の課題を確認する。		
	【本時の目標】「私の旅行」というテーマで, 行った場所やしたこと, 感想を交え, 5文程度の英文で書くことができる。		
	4. 指導者のモデル文について聞く。	○一般動詞の過去形を含んだ5文程度の英文を聞かせる。	
開	(モデル文) I went to Hiroshima with my family in December. I visited there by car. I ate okonomiyaki and bought some CDs. I like okonomiyaki. I enjoyed Hiroshima very much.		
	5. モデル文を提示する。	●内容について質問する。 ●本時の活動のイメージをもたせ, 書く時の条件を確認する。 ・5文以上で書く。 ・感想を交えて書く。 ・動詞の過去形を使う。 ・つながりも考える。	
	6. 英文を書く。 【自己決定】	●辞書等を活用して, 英文を書かせる。 ★机間指導をして, 個別のサポートをする。	◇一般動詞の過去形を用いて, まとまりのある文を正しく書くことができる。【外国語表現の能力】 (ワークシート)

	<p>7. 完成した英文をペアで交流する。 【自己存在感】 【共感的人間関係】</p> <p>8. 英文を完成させ、音読練習をする。</p>	<p>○ペアで読み合うことで、より分かりやすい英文になるようアドバイスさせる。</p> <p>★発音やイントネーションなどのアドバイスをする。</p>	
ま と め	<p>9. 振り返りをする。</p> <p>10. あいさつをする。</p>	<p>○本時の目標に対しての振り返りをする。</p> <p>☆つながりも考えながら5文書くことができた。</p> <p>☆5文は書けたが、最初正しく書くことができなかった。</p>	

(5) 板書計画

めあて：「My Trip」というテーマで、行った場所やしたこと、感想を交え、5文程度の英文で書くことができる。

☆書く時の条件

- ・ 5文以上で書く。
- ・ 感想を交えて書く。
- ・ 動詞の過去形を使う。
- ・ つながりも考える。

今日の活動のモデル

I went to Hiroshima with my family in December.
I visited there by car.
I ate okonomiyaki and bought some CDs.
I like okonomiyaki.
I enjoyed Hiroshima very much.